



令和6年10月10日発行 学校生活発信中  
 編集 地域連携コーディネーター 橋浦 優香  
 文責 副校長 岩船 裕道



## 山高生が伝える津波碑ガイドツアー

9月28日 1学年の生徒が町民を対象に「山田町津波碑ガイドツアー」を実施しました。この取り組みは、山田町と連携し、地域の歴史や防災意識を次世代に伝える重要な機会として行われました。

ガイドツアーでは、3学年が作成した「山田町津波碑ガイドマップ」を活用し、ふるさと探究の時間に町内に点在する津波碑を巡るフィールドワークを実施。碑文の読解やガイド方法については、役場や地域の方を外部講師として迎え、直接指導を受けながら授業を進めてきました。

参加者からは、「若い世代が津波の教訓を伝承してくれてありがたい」「建てられた意義をしっかりと考え、分かりやすいガイドだった」との感想が寄せられました。

今後、1学年はこの経験をもとに、小学生向けの防災出前授業も予定しており、さらに幅広い世代への防災意識の啓発を進めていく予定です。



## やまだの焼きそば 100食完売！

10月5日 「やまだわんぴいす」というボランティア有志の団体が、山田町の特産品を生かした焼きそばを作り、やまだ福祉まつりで販売しました。地元の皆様や来場者の方々のご協力をいただき、用意していた100食が完売しました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。さらに、福祉まつり当日にはメンバーが会場のアナウンスを担当し、祭りの盛り上げにも貢献しました。次回は11月17日の「山田にぎわい市」で販売を予定していますので、今後とも応援よろしくをお願いします。



## 後期生徒総会開催

10月3日 令和6年度後期生徒総会が開催され、前期生徒会および各委員会・部活動の活動報告が行われました。さらに、後期の活動計画について協議が進められ、今後の取り組みについて期待が高まります。総会では、制服の見直しやスマートフォンの利用に関する提案が出され、生徒たちから活発な意見が寄せられました。学校生活の向上に向けた生徒の積極的な姿勢が感じられる場となりました。



## SDGsを学び山田町の未来を考える

10月2日 ふるさと探究Ⅲの時間に、SDGsについて学び、その知識を活かして山田町の活性化や問題解決に取り組むワークショップが行われました。

特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわての坂下様を迎え、岩手大学、岩手県立大学、富士大学の学生が取り組みを発表しその後、学生と高校生と一緒にワークショップを行いました。

ワークショップでは、山田町が抱える課題や改善のアイデアについて書き出されました。生徒たちは、古着をリサイクルしてバックを作るアイデアなどを通じてSDGsが身近なものだと感じる事が出来たと話しました。

今後は、高校生議会に向けて山田町をより良い町にするための提言を考えていく予定です。



## さいかち祭が開催されます

日時：10月19日(土) 10:00~14:30  
 場所：岩手県立山田高等学校

- 吹奏楽部ステージ発表
- ①11:00~11:30 ②13:30~14:00
- 茶華道部によるお茶会
- 12:30~14:30

各学年企画、部活動の展示など、皆さんが楽しめるイベントとなっておりますので、ぜひお越しください！

